

企業年金だより

2023

第6号



▲万太郎山(谷川連峰)

ホームページはこちら

<https://pankikin.jp>



当基金からのお知らせや、基金制度の概要等を掲載しております。また、企業年金だよりのバックナンバーの閲覧も可能です。

パン企業年金基金

令和4年度 決算のお知らせ

(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

令和5年4月13日に開催された第13回理事会・代議員会において、当基金の令和4年度事業報告及び決算について審議が行われ、全会一致で可決・承認されました。



年金経理

損益計算書 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(単位：千円)

収益勘定		費用勘定	
科目	決算額	科目	決算額
掛金等収入	80,402	給付費	154,419
運用収益	4,512	運用損失	34,281
責任準備金減少額	69,058	運用報酬等	3,997
当年度不足金	44,435	業務委託費等	4,642
		移換金	1,068
		責任準備金増加額	0
		当年度剰余金	0
合計	198,407	合計	198,407

貸借対照表 (令和4年12月31日現在)

(単位：千円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	13,289	流動負債	0
固定資産	773,596	支払備金	91,101
繰越不足金	0	責任準備金	740,219
当年度不足金	44,435	別途積立金	0
		当年度剰余金	0
合計	831,320	合計	831,320

業務経理

損益計算書 (令和4年1月1日～令和4年12月31日)

(単位：千円)

収益勘定		費用勘定	
科目	決算額	科目	決算額
掛金等収入	13,736	事務費	13,308
雑収入	0	雑支出	326
当年度不足金	0	当年度剰余金	102
合計	13,736	合計	13,736

貸借対照表 (令和4年12月31日現在)

(単位：千円)

資産勘定		負債勘定	
科目	決算額	科目	決算額
流動資産	16,490	流動負債	2,281
固定資産	150	繰越剰余金	14,264
前払金	7	当年度剰余金	102
繰越不足金	0		
当年度不足金	0		
合計	16,647	合計	16,647

財政検証結果

毎事業年度末において継続基準及び非継続基準での年金資産の積立が十分かどうかを検証することを財政検証と言います。仮に十分な積み立てがなされていない場合は掛金の見直し等を行う必要があります。

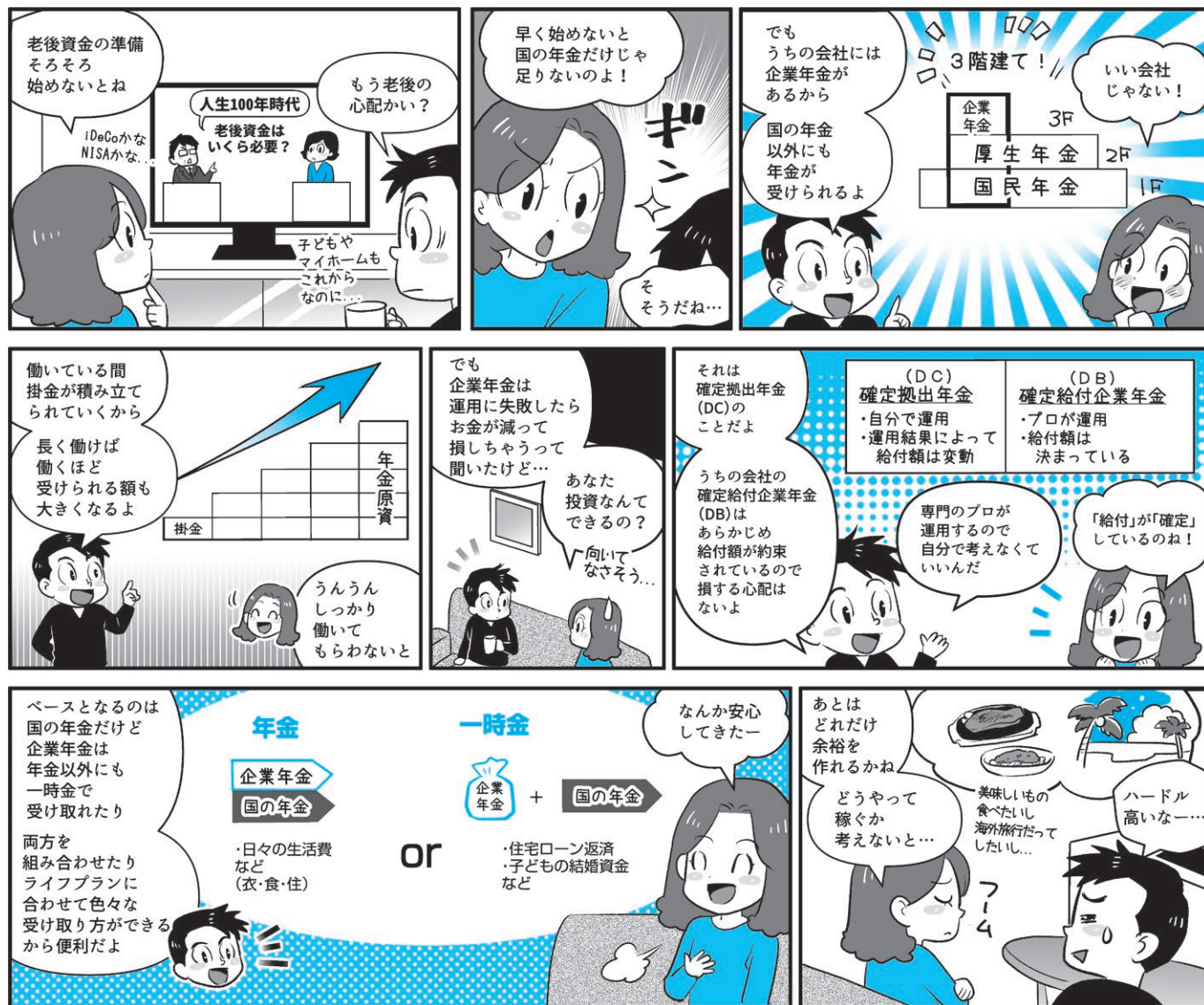
	基準値	積立水準	検証結果
継続基準 (責任準備金)	いずれか 1.00以上	0.93	NG
継続基準 (財政再計算要否)		1.08	OK
非継続基準 (最低積立基準額)	1.00以上	1.04	OK

当年度決算においては、一部継続基準を満たしていませんが、財政再計算の必要はありません。

もっと身近に年金!

老後資金に安心をプラス! 国の年金を補う企業年金の特徴

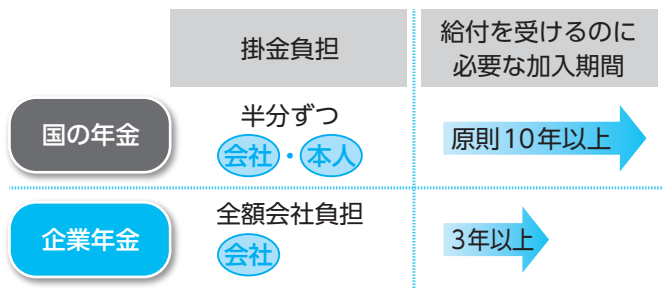
老後資金のベースとなるのは国の年金ですが、企業年金は国の年金の上乗せや一時的な資金に活用することができ、国の年金を補う役割をもっています。



安心! 掛金は全額会社負担、3年以上加入で受けられる

国の年金保険料は会社と本人で半分ずつ負担しますが、企業年金基金の掛金は全額会社負担です。

国の年金は原則10年以上加入しないと受けられませんが、基金は3年以上加入すれば一時金が受けられます。10年以上の加入で年金でも受けられるようになります。



安心! 転職しても安心、資産を持ち運べる

企業年金には、積み立てた資産を他の年金制度に持ち運べる「ポータビリティ制度」があり、転職するときも安心です。転職先の企業年金制度や、制度がなくても企業年金連合会などに資産を移して、将来年金で受け取るなどできます。

積み立て資産の移換先

- ① 確定給付企業年金
- ② 厚生年金基金
- ③ 企業型確定拠出年金
- ④ 企業年金連合会
- ⑤ iDeCo (個人型確定拠出年金)

※①・②は移換先制度の規約に定めがある場合のみ移せる。

「公的年金シミュレーター」試験運用中

厚生労働省が開発した、スマートフォンやタブレットで年金額を簡単に試算できるツール「公的年金シミュレーター」が試験運用中です。

日本年金機構から公的年金に加入する皆さまの元へ送られる「ねんきん定期便」に記載の二次元コードをスマートフォンやタブレットで読み取り、生年月日を入力するだけで、働き方・暮らし方の変化に応じて将来受給できる年金額を、いつでも手軽に試算することができます。

詳細は以下のページをご覧ください。

● 公的年金シミュレーター使い方ホームページ

https://www.mhlw.go.jp/stf/kouteki_nenkin_simulator.html



基金の事業概況

設立事業所及び加入員・受給者の概況 (令和4年12月末)

事業所数	65所
加入者数	2,044人
年金受給者数	19人



給付の支給の状況 (令和4年12月末)

給付の種類	件数	支給額
年金(老齢)	19件	2,793,480円
一時金(老齢)	39件	31,796,200円
年金(遺族)	0件	0円
一時金(遺族)	3件	1,831,600円
脱退一時金	339件	118,340,200円
合計	400件	154,761,480円

年金給付等積立金の運用状況

ロシア・ウクライナ問題や、アメリカの金融引き締めに伴う株価の下落等の影響により、大幅な収益ダウンとなりました。

令和4年度の最終的な運用損失は34,281千円となり、修正総合利回りはマイナス3.68%となりました。

このことにより、当年度は44,435千円の不足金が発生しました。

運用損失	34,281千円
修正総合利回り	-3.68%

● 資産構成割合 (令和4年12月時点)

(単位: 百万円、%)

	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式	一般勘定	短期資金	その他資産	合計
時価総額	102	34	67	99	311	132	29	774
構成割合	13.2	4.4	8.7	12.8	40.2	17.0	3.7	100